

外国ルーツの子どもたちの 学習支援講座

令和6年2月3日（土）に、ボランティアステップアップ学習会を開催しました。日本語ひろばキッズボランティアや、外国ルーツの子どもたちの支援に興味のある方など 29 名が参加しました。

はじめに姫路市教育委員会の先生から、外国ルーツの児童生徒を取り巻く環境についてお話しいただきました。現在姫路市における日本語指導が必要な児童生徒数は、約450名で、10年前の3倍にも上るそうです。多国籍化、分散化も進んでおり、支援態勢の整備が急務となっています。



支援の心構えや具体的な支援方法については、兵庫県国際交流協会登録日本語教師の辻村文子先生から、具体例やワークショップを交えて教えていただきました。生活言語と学習言語の違いや、来日のタイミングによっても日本語の習得にかかる時間や学習面で必要となる支援が異なることなど、知らないことが多くありました。

子どもは一人ひとり違うこと、焦らないこと、できないことよりできることにフォーカスするなど、子どもたちの「今」に合わせた支援の大切さを学びました。

この講座で得たことを活かして、ボランティア活動をより充実させていただければ幸いです。また、これから活動を始めたいという方は、ぜひ一步を踏み出していただけたいと思います。

